

～将来の公共施設のあり方を考えるために～ 説明会

番号	分類	意見の概要
1	全体	人口予測や整備の状況で今後、更新費用が不足していくという話は理解できた。しかし、だからといって施設を減らしていくというシナリオはあまりに乱暴ではないか。他市に比べて施設が多いということは市民にとって財産であり誇れることだと思う。現状の施設を維持していくための方策には何が必要かといった視点での検討をしていくことも必要ではないのか。
2	全体	公共施設の削減で経費の増加を抑えることは必要だと思うが、現行施設の近代化も必要な場合があると思うので、施設のあり方全体を考える必要があると思う。
3	全体	リサイクルプラザに会議室、和室があるが使われているのか。あまり周知がされていないと思う。多くの人が集会施設の場所がないと言っているが、余っている（空いている）施設はたくさんあると思う。施設が利用されないと傷みも酷くなってしまふ。多くの人に利用される施設を目指すべきではないか。
4	全体	公共施設は多目的に使えるべきである。行政として5年、10年先を見越して、どの位多目的化を目指していくのか。それには総合計画の中に具体的な数値を入れることが必要だと思う。
5	全体	公共施設を利用する市民として話は理解できる。それと同時に今回は、公共施設を維持することを業とするものとして話を聞かせていただいた。お金をかけずに施設の長寿命化のために維持管理するにはある程度バランス感覚を持っていただきたい。入札で地元ではない業者に維持管理を請負させた結果、節約した金額をはるかに上回る電気料金が使われた等の事例もあるため。本日の説明会は大変参考になった。今後も自分たちの財産として維持管理をしっかりとやっていきたいと思う。
6	全体	統廃合の対象になる公共施設の区分けはできるだけ明確に明示してほしい。必要な施設の整備コストはいち早く見積りして明示したい。施設不良に伴うリスクについては、事前調査結果として発表してほしい。天井落下など過去の事例などから予測できることは明示してほしい。
7	全体	公共施設の再編にあたり、市民が困ることのないようお願いする。
8	全体	基本的な考え方は分かった。評価の仕方が難しいと思う。関係住民とよく話し合いをしてほしい。民間は利益が出ないと撤退することをよく考えてほしい。縦割り打破を期待する。
9	全体	防災上の公共施設の役割を考慮して計画を立てていただきたい。（例）大地震に伴う津波、台風による高波等。
10	周知・合意形成	4年前に施設再編について広報特集号が発行された。市民の方たちも忘れてしまっているのので、改めて特集号を計画したらどうか。
11	周知・合意形成	説明会実施の周知方法が悪いので、PRの仕方を考えてほしい。
12	周知・合意形成	説明会の周知が不足している。
13	周知・合意形成	参加者が少なかったのので、事前の広報がもう少し必要であると思った。
14	周知・合意形成	今回の8回の説明会では何人位の参加があったのか。この会場も人数が少なくて寂しい。
15	周知・合意形成	3館（勤労会館、青少年会館、教育会館）の方向性については、若い世代が知らないうちに決まってしまった。今後はどこの施設が使えるなど、廃止後の施設フォローをやってほしい。
16	周知・合意形成	パブリックコメントの収集方法は甘い。是非、自治会の活用を考えてほしい。

17	周知・合意形成	これまでにパブリックコメントを実施した事例はあるか。施設に関連する自治会の声を聞く必要があると思う。
18	周知・合意形成	公共施設評価、個別施設計画について、作成された段階でできるだけ広く公表してほしい。
19	周知・合意形成	今後の状況変化（社会背景）は全国的に同じだと思う。計画全体についてもう少し詳細に説明してほしい。例えば取組事例の中で幼稚園と保育園の機能を統合し、新たにこども園を設置とあったが、部分最適ではなく、保育園全体の方向性がみえないと効果が分かりにくい。また、市でいろいろな計画があるが啓発の仕方が希薄であり、そのため市民の理解度が低い状態だと思う。意見の吸い上げの徹底を今後は検討してもらいたい。
20	周知・合意形成	市の施設もたくさんあり大事な話であるので、職員の人には頑張ってもらいたい。立派な計画を作っても、広く市民に伝わらないと意味がない。多くの市民の参画を経て、計画づくりを進めてもらいたい。
21	周知・合意形成	市の公共施設の状況が理解できました。施設改修は、人口減と高齢化を考慮し検討されていると思うが、地域の意向を聞いてほしい。
22	周知・合意形成	施設評価等について、広く市民に知らせてほしい。大変とは思いますが、しっかり評価して実施してほしい。現況説明については、よく理解できた。
23	周知・合意形成	市長はPPP・PFIのマニュアルで市民対応をすと言っているが、PFIだと事業者が選定されるまで具体的なことが公表されない。これは市民に対する説明責任を果たせない仕組みである。このような手法はやめて、きちんと事業を考える段階から公表し、市民参加を保障すべきである。
24	周知・合意形成	大神地区にある余熱利用施設の市民への認知度が低いと思う。市民への周知を図り、多くの人が活用できるものとしてほしい。
25	収入増加策	環境事業センターは利用割合で費用を分担しているが、市民病院は大磯町、二宮町の人たちも大勢利用している。市役所駐車場のよう市民からお金を取るばかりではなく、市外の人たちからも負担を求めるべきではないか。
26	収入増加策	市内には施設がたくさんあり、その多くが無料で利用できる。主催者が参加者から費用を取るだけで、市には何の収入も入らない。利用した人が利用料金を払って施設を利用することも考えられる。お金が入る方策も検討した方が良いのではないか。
27	収入増加策	小田原市では会議室の利用は使用料を払い有料としている。会議室や集会所の利用は一部の者で、使わない人が多いのだから利用者からお金を取った方が良いと思う。
28	収入増加策	伊勢原市等の他市では、会議室の有料化を導入しているところもある。市ではどんな状況なのか。具体的に導入していく施設はあるか。公民館でも体育館は有料だが会議室は無料である。そういう話も順番に進むのかと思っていた。
29	収入増加策	市では受付窓口を民営化にしたり、今後図書館の民営化も検討されている。しかし、市役所等の駐車場では事業者にはばかり儲けが出て、あがりの料金として市に入るのはごくわずかと聞いている。公民館などの公共施設は利用時間が22時までやっている。しかし実際には21時頃までの利用が大半を占めるため、閉館時間までの人件費や光熱費など無駄な経費が多いと思う。駐車場の収入がもっと市に入れば経費削減になり、施設を減らさなくても改修費用を賄うことはできるのではないか。
30	収入増加策	人口減少や財政が厳しいので施設計画も減らしていこうとするのは後向きである。財政をいかに増やすかを考えるべきではないか。（例）観光事業やスポーツ施設の拡大によって、市外、県外、国外からの人を呼び込み財政を増やしていく。
31	経費削減	再編事例の中で紹介があった複合化は、維持管理費用の削減が図られる等のメリットがあると思う。しかし、本当に経費削減が図られていたか検証することが重要だと思う。是非、そうした流れを組み入れて検討してほしい。
32	経費削減	人口減少社会になり、それに伴い職員の削減も予測されるので、その人件費を施設改修に充てることもできるだろう。
33	経費削減	100年後の日本の人口は、大正初期の5,050万人とされている。平塚市の人口も減少するだろう。税收減少に備えて、公共施設、市役所職員等の削減も考えられたい。

34	維持管理	しっかりとした建物を建てれば、その後の改修は比較的安価にできると思う。今ある施設の維持ができないのに、新たに施設を作るべきではない。
35	維持管理	維持管理について、安く済ませるのではなく、最終的に建物の寿命が長持ちするようある程度のコストをかけて実施してほしい。
36	維持管理	一般的に建物の寿命は30年から50年で、それよりも用途が古くなり建て替えられる事例の方が多いと思う。
37	維持管理	白寿荘を文化財収蔵施設として利活用しているが、古い施設を活用してもそのうち古くなり、改めて手を入れる必要があるのではないか。
38	目標・期間	計画の進め方について、具体的な目標、方向性が出せなければ実際には何も進まない。しっかりと目指すべき目標を見えるようにしなければならないと思う。
39	目標・期間	10年サイクルは長い。民間は3ヵ年計画で動いている。短期でみていかねばならない。
40	目標・期間	目標として"10年で延床面積総量4%削減"だけであると市民の反発が大きいのでは？他にソフト面での指標を目標として掲げてはいかがですか。
41	目標・期間	計画策定後にも新たな施設が建てられたので、実際には面積が増えたことになる。当初の目標に加え、新たに増えた面積を減らすことは無理ではないのか。削減できるのは、先日公表された3館（勤労会館、青少年会館、教育会館）くらいで微々たるものではないのか。
42	目標・期間	総合管理計画で新たな施設建設の抑制を原則としているのに、実際にやっていることは逆ではないか。東部福祉会館の代わりに余熱利用施設が完成した他、市民センターよりも文化芸術ホールは面積が1.5倍に大きくなる。縮減するといいつながら、各論になるとふらつく。計画との整合性はどうか。
43	目標・期間	10年で4%の削減目標も、計画策定後に増えた分が加わる。高い目標を具体的にどうするのか、市民が納得いくような検討をしてほしい。
44	目標・期間	市の人口が将来的に約18%減るにもかかわらず、将来にわたり施設の削減目標は何%と考えているのか。持ち過ぎになるのではないか。
45	目標・期間	改善目標が10年で4%としているが、民間ならもっと高い目標を立てており、しかも短期間で効果を求められる。例えば、3年で15%～20%位の大きな目標を立てないと4%も達成できないと思う。公園も市内に大小合わせて400位ある。法律により整備が求められるので仕方ない面もあるが、あまりにも多すぎる。公園が減れば管理費用の削減にもつながると思う。
46	目標・期間	市の施設は多いというが、集会機能は現状で足りていない状況だ。今後、教育会館、勤労会館、青少年会館の3館が統合された後はさらに足りなくなることが予想される。10年間で面積を削減することは時期尚早だと思う。市民の文化活動への弾圧とも受け取れる。もう少し緩やかに面積を減らしていただきたい。
47	立地・交通	ますますの高齢化に向かい、歩いて集まれる場所が公共施設の最優先として考えてもらいたい。
48	立地・交通	平塚市の自慢できる特徴は、「一小学校区、一公民館」。歩いて集まれる場所として地域のコミュニケーションの中心となり、大変有効である。最低この路線だけは崩してもらいたくない。
49	立地・交通	統合等で場所が遠くなるのは困るが、その場合は交通手段を十分考えてほしい。
50	立地・交通	高齢者が利用せざるを得ない施設への交通手段の確保を行政全体で横断的に検討していただきたい。

51	立地・交通	市では平塚駅と大神地域を結ぶ南北都市軸ばかりを強化していくような方針を出しているように感じられる。
52	立地・交通	市の自治会は27の組織に分かれている。東西に分けた場合、公共施設の比率はどの位になるか所管課として捉えたことがあるか。公共施設が駅周辺の中央にばかり集まってしまうと、今後さらに高まる高齢化により行く術がなくなる人も出てくると思う。地域（地区）内で完結できるよう施設の配置も考えてほしい。
53	立地・交通	平塚は他と比べて非常に有利な土地だと思う。東京まで電車で1時間程度、横浜までも35分程度で行ける。始発電車を増やすことができれば魅力的なことは間違いない。それが可能となれば、それほどまでに人口は減らないのではないのかと考える。また、他の場所でも余っている土地もあるので、増える可能性もあると思う。
54	再編	ツインシティにより税収が増えたからといって施設再編への推進は続けていかねばならないと思う。
55	再編	子どもや若者と高齢者など世代間の分断やコミュニティの崩壊が社会福祉の研究分野で課題とされている。例えば、小学校や公民館をドッキングさせた施設の取組もある。多世代交流をもっと配慮すべきである。
56	再編	説明にあった人口の推移と予測が進んでいくと、各施設の利用も減り、学校も児童、生徒数が減り同様の状況になっていくと思う。そのため、空き教室の活用も考えられる。公民館も小学校単位ではなく、学校の空き教室に入ることも考えられるのではないかと。今後、平塚商業高校の跡地を県から市に移管してもらい、建物を利活用して様々な使い方もできると思う。他にも、横内公民館と神田公民館は近い場所にあるので、統合も考えられると思う。
57	再編	再編事例の中に大原小学校と大原公民館の複合化を入れた方が良いと思う。地元では民間施設を利用してよろず相談センターを始めた事例もある。お金をかけずに再編することを考えてほしい。
58	再編	公民館の場合、地域性もある。利用が低いからと再編されてしまうと、その地区に施設がなくなってしまう。
59	再編	施設再編時には、市民が使いやすく予約できるよう検討すべきと思う。
60	再編	今後整備、再編していく施設のネーミングを考える際は慎重に進め、広く意見をもらった方が良いのではないかと。
61	再編	高齢化社会の中で健康寿命を維持向上できる施設を作ってほしい。
62	再編	保健センターの会議室の活用を容易にしてほしい。
63	再編	市北部地域のツインシティに伴い、人口が増えると言われている。にもかかわらず、大神、田村地区には公共施設が少ない。
64	再編	平塚市北部開発での人口増が見込まれることから、このツインシティ内部での公共施設設置が望まれます。現有施設の削減も判断できるが、新設も同時に検討すべきと思われる。大神地域での大型医療施設の確保もお願いしたい。
65	再編	再編事例の紹介の中で公立保育園を廃止して民間保育園を設置とあったが、公立保育園は貧困層やグレーゾーン世帯の子供たちの受け皿としての役割があると思う。
66	再編	公民館等において、自治が図られているのかが疑問を感じる。市民活動センターも含め、自分たちの町の運営に自分たちがやるという方向でやれば、公共施設のあり方も見直しが必要となってくると考える。具体的な例は、全国的な研究事例を探せばあるのではないかと。
67	再編	崇善公民館の複合化について、駐車場がないことは問題だと思う。市民活動を行うに際し、あってしかるべき。また、公民館の部屋も隣の音が漏れたり、同室内でも音が割れたり使い勝手が悪い。市は利用者の声を真摯に受け止めてほしい。

68	再編	市民活動センターは、バリアフリーへの対応として駐車場の整備など弱者への配慮を検討してほしい。
69	再編	市民活動センターの音響対策を早急に対応してほしい。
70	施設評価	施設評価について、公民館と水道のライフライン等のインフラは次元が違う話だと思うが、説明を聞いていると同じくりなのかと思った。一般的な公共施設は維持管理費用の中に人件費も入っており、比較は別にするべきと思うが。
71	施設評価	人がいなくても良い施設（例：市役所など）も存在すると思う。しかし、施設を利用するか否かで評価されると思う。施設評価の仕方がいま一つ理解できない。
72	施設評価	施設評価は政策的な観点も加えるべきである。
73	施設評価	集中的に整備した時期の時代背景や、各施設の設立目的、費用対効果などのデータが残っていると思うが、40～50年を経て時代が変わり、かなりのデータは今となってはそぐわなくなっていると思うので、このような評価も今後の検討において必要だと思う。
74	政策	お金がないという一方、積極的に施設を建てようとしている課がある。市として横断的に連携を図り、同じ考えのもと政策を進めていってもらいたい。お金がないならお金がないりの対応を市の政策として統一してほしい。検討の際はそうした点に注意しながら担当課だけでなく市として対応してほしい。
75	政策	説明会を開催し、今後の流れについて市民へ説明することは良いことだと思う。一方、先日公表された勤労会館・青少年会館・教育会館の場合は少し乱暴とも言える。個別施設計画で面積の削減を目指していくにもかかわらず、龍城ヶ丘や湘南平を整備していくことは市として整合性がない。
76	政策	市が言っていることは理解できるが、庁内での政策的な整合を取り事業を進めていくべき。勤労会館・青少年会館・教育会館の統合や龍城ヶ丘の開発についても、市民参加、市民意見の集約が不透明である。
77	政策	総合管理計画の原則の1つに「新たな建設の抑制」とあるが、見附台の整備や龍城ヶ丘の方へお金をかけるから施設改修の方にお金が足りないのではないのか。
78	政策	町の方（見附台、大神）に質の良い、市民のためのものを作るのは良いことだと思うが、平塚の端の方（吉沢、土屋、旭）での削減があるとすればいかなものか。高齢者が増えればそれに伴う公費も多く必要になるので、ツインシティや海岸整備をしている場合なのか。
79	政策	公共の福祉、教育の分野にもっと予算をもってすれば施設の維持管理や改修に対応できることが、ツインシティや龍城ヶ丘の開発に何百億円も使っている。福祉や教育に予算がつくように頑張してほしい。
80	政策	開発も大切ですが、過度な開発はやめて教育や中学校給食の導入、病児病後保育などの充実を図ってほしい。
81	賛同	基本的に公共施設を効率的（縮小）にすることは大賛成ですので、進めていただきたい。進めていく上では全員賛成になることはないでしょうが、大きな（基本的な）考えに基づき、確実に進めることが市民全体の利益になると私も信じております。
82	賛同	本説明に対して、いろいろな質問が出されて良かったと思う。それらを踏まえてよく理解できたと思う。
83	賛同	公共施設の縮減については賛成である。施設を改修して、利用者の利便性を良くしていくことはありがたい。私の住む集合住宅では、大規模改修の際に外壁タイルとエレベーターにお金をかけている。公共施設でも同じで施設が集約化されれば、そうした経費が削減されるので有益だと思う。公共施設は改修を見込み、デザインよりも実用性を重視すべきだと思う。高級感を出すためにタイル貼りにはナンセンスである。
84	賛同	将来の公共施設のあり方を考えるための認識として、現状の取組を高く評価します。市民として施設を利用する捉え方の取組案・・・老朽化した施設は取り壊し、減少した利用スペースは残った施設の共用で対応する。共用施設が遠くなり不便になることは、個別方法で対応する。建替え新設の場合は、多目的利用施設を十分検討し対処するが、現状の多すぎるスペースはしっかり清算すること。二宮へ行った時に見た図書館に入った共用施設を羨ましく思った記憶がある。

85	賛同	平塚に転入し1年足らずで初めてこうした説明会に参加させていただきました。公共施設の有無等、まだ理解も不十分ですが、計画は十分されていると思われるので利用実態に応じて思い切った実行が望まれる。
86	賛同	説明を聞いて、市でもいろいろ考えていると思った。現在でも新たな施設を計画している。どこまで新しいものを作っていく考えなのか。どこかのタイミングで新たな施設計画を切るかを検討すべきだと思う。
87	賛同	丁寧な説明で良い話が聞けたので、また機会があれば参加したい。近年、災害も増えているので、そうした時に公共施設としてきちんと機能するような状態であってほしい。取捨選択して施設を維持して欲しい。
88	賛同	事の重大性は理解できました。もっと多くの方に知ってもらおう努力が必要かと思う。
89	賛同	全体の公共施設の方針が分かりました。また来年もお願いします。年2回位が良い。
90	賛同	少子高齢化の中では、施設の縮小（床面積4%減）という計画は必要なことかなと説明を聞いて感じた。
91	賛同	説明を聞き、資料もまとめてあり参考になった。
92	賛同	詳細までは理解できませんでしたが、多角的に考えられていることが分かり、大筋で納得、安心できました。納税者視点、利用者視点を前提をお願いします。
93	賛同	大変な仕事であるが頑張してほしい。
94	その他	子どものいじめへの対応として、公園等、身近な場所に大人がいることなどの配慮があった方が良いという声がある。子どもの貧困も増えている。
95	その他	市内に大学がないので若者が集まらない。
96	その他	真田・北金目地区では区画整理により人口が増え、小学校でも教室が足りないと言っている他、未就学の子どもも多い。自治会としても現時点でできることはやっていかねばならないと思っている。金目の地域では昔ながらの文化や農業、歴史もあり、地域住民もそのように意識している。市もそうした特性を応援してもらえるとありがたい。
97	その他	公共施設を縮小していく必要があることは理解できる。市は金儲けしてはいけないのか。例えば日産がロケットの部品を作っているが知っている人は少ないと思う。東海大も航空宇宙工学科でロケットの研究をしている。さらに、四之宮地区ではそれに関連する工場もある。これまでの平塚の欠点としては、子どもを育てても東京や横浜などの都市へ流出してしまい、せっかく税金をかけても戻ってこない。今後は市内の工場や大学、高校などに対して市の売りとなる方針を出し、それらを調整する役割としてシティマネジメントを進める必要があると思う。
98	その他	説明の中で「費用対効果」とあったが、簡易な言葉を用いてもらえるとより分かりやすいと思う。
99	その他	近所の公園では、昔は子供たちがたくさん遊んでいたが、今は子供たちが利用せず、老人ばかりでゲートボールやグラウンドゴルフ等をしている。遊具も老朽化しているので、それを取り払い、花を植えたり老人たちが憩えるような空間にしたらどうか。
100	その他	市は行革といってすぐ民間委託しているが、そこで働くのは若い人や女性であり、同一賃金、同一労働ということからは逸脱している。若い人や女性がきちんと就労できないことから少子化が進み、経済が後退している。こうしたことを踏まえ、民間委託は見直し、働く人を大事にし、市のトータルな事業や職員の給与を抑えるなど対応すべきである。
101	その他	駐車場の民営化が市民活動をする人の負担になっている点も考慮すべきである。

102	その他	公設民営の環境事業センターを整備する際、市へ問題点を提起したが、長期委託とごみ減量政策が考えられていない。市はもう少し各種政策の勉強をすべきである。PDCAをやる前に、市がこれまでやってきたことの反省点や現在何が問題であるか、各種政策のどこが重要か、自治基本条例をどう活かすか、ここをきちんとやってからPDCAに入るべきである。
103	その他	龍城ヶ丘の件で、企業が開発することに対し丸投げするのはどうかと思う。自然を壊すことは間違っている。国の援助が出るから事業を進めるとするのは、問題だと思う。
104	その他	龍城ヶ丘ゾーン整備による松林伐採は絶対しないで自然を守ってください。
105	その他	大野公民館は台風19号で避難所ではなかったが、他では犬を連れて避難する人もいたようだ。また、防災スピーカーも音が混ざり聞こえなかったとの意見もあった。また、相模川沿いの住民には、河川が増水してから市から避難の連絡が入ったが、増水しているのに避難できる訳がない。その辺の指示がおかしかったと思う。
106	その他	市からの防災情報について、一斉放送で音が混ざってしまい全然聞こえなかった。高齢者はガラケーを使用している人が多く、情報も入ってこない。特に今回の台風では河川の氾濫も危惧された。該当する地域には集中的に市から放送を入れるべきだと思う。自治会は連絡体制もしっかりしているので、市も自治会を活用してくれることも検討してほしい。
主な質問		<p>総合管理計画、再編計画を策定して年数が経過しているが、削減目標の達成状況はどうなっているのか。</p> <p>⇒（回答）総合管理計画策定後、新たな施設整備が完了したのものもあり、実際には計画当初より面積が増えている状況にあります。今後、削減に向けてさらに努力していかなければならないと考えます。</p>
		<p>10年間で延床面積総量の4%削減の根拠や背景を教えてください。</p> <p>⇒（回答）平成21年から平成25年の間に公共施設の整備や改修等に要した費用が年平均54億円でした。当時、72万㎡の施設面積を保有し、事後保全（不具合が起きてから対応する保全）で85億円要していたことから、予防保全（計画的な保全）に切り換えた上でその後40年に要する費用を試算したところ56億円となり、まだ2億円不足する結果となりました。その不足額を面積に換算し4%という数字を算出しました。</p>
		<p>今後10年の間に建設予定の建物はあるのか。</p> <p>⇒（回答）平塚文化芸術ホール、相模小学校、給食調理場等の建設が予定されています。削減の目標に向けて、必要と判断した施設は整備しますが、時代に合わなくなった施設などは統合や廃止などについて検討していかなければならないと考えています。</p>
		<p>複合化して整備する建物は、従前の建物面積よりも縮減されるのか。</p> <p>⇒（回答）なるべく小さくすることが基本となりますが、利用状況によっては従前施設よりも面積が大きくなる場合も考えられます。また、原則として新たな施設建設は抑制していきますが、ニーズの変化や政策上の判断などにより、必要に応じて新たな施設整備も考え、公共施設の持つ機能が陳腐化しないよう努めてまいります。</p>